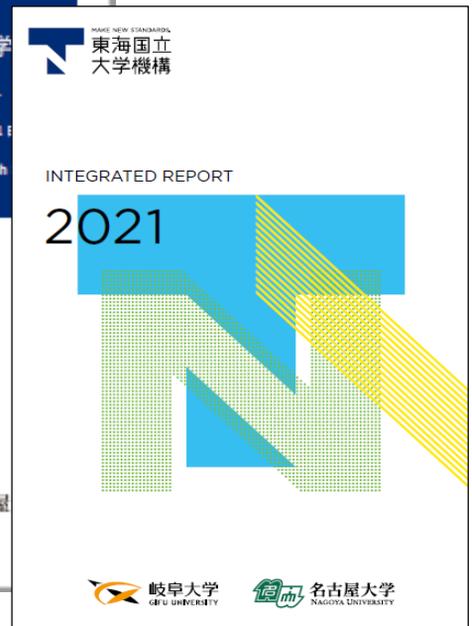


その他



国立大学法人東海国立大学機構 (航空宇宙生産技術開発センター開所)

【概要】

国内初となる航空宇宙生産技術に関する科学的・体系的な教育・研究開発を行う拠点として、岐阜大学に設置されました。産学金官が連携し、将来の航空宇宙産業界に必要とされる人材の育成、研究開発を行います。2020年より、東海国立大学機構 航空宇宙航空宇宙研究教育拠点 の組織として、名古屋大学とともに活動しています。

航空宇宙産業の集積度が高い中部圏は、内閣府により国際戦略総合特区として指定され、今後も成長が期待されています。労働集約型工場が多い航空宇宙産業では、抜本的な生産性向上が求められていますが、そのために必要とされる生産技術は、関係する学問や技術分野が極めて広く、網羅的に教育・研究を行う機関が求められていました。

当センターでは、岐阜大学が持つ航空宇宙生産技術と、名古屋大学が持つ航空宇宙設計技術の互いの強みを生かし、必要とされている教育・研究、地域企業との連携を行うことで、魅力ある大学づくりと地域産業のさらなる発展を支えます。

令和3年4月19日(月)には、航空宇宙生産技術開発センター開所記念式典を執り行い、古田肇岐阜県知事、松尾清一東海国立大学機構長、森脇久隆岐阜大学長、その他岐阜県や企業の関係者等およそ45名が開所記念式典に出席し、本センターの本格運用開始を祝福しました。

式典では、関係者による挨拶の後、テープカットで開所を祝い、グループに分かれて施設内を見学する内覧会が行われました。また、式典終了後には、「空飛ぶクルマ」と題して、株式会社スカイドライブの最高技術責任者 岸信夫氏による講演が行われ、オンライン配信も含めおよそ400名の関係者や学生が聴講しました。



テープカット



内覧会

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/4/5	毎日	生産性向上 地方創生へ ～ 航空宇宙生産技術開発センター長 小牧博一さん ～
2021/4/20	岐阜	航空宇宙産業の国際競争力向上、人材育成 生産技術開発センター開所 産学金官連携、岐阜大内に
2021/4/20	中日	航空宇宙研究拠点 岐阜大構内に開所 生産技術開発センター
2021/4/20	読売	航空宇宙産業の新拠点 岐阜大敷地に 技術開発や人材育成
2021/4/20	毎日	航空宇宙開発の拠点に 岐阜大で生産技術センター本格稼働 工作ロボや運搬技術など開発
2021/4/20	日本経済	航空機部品の生産 効率化 岐阜大・名大が新研究拠点 AI管理や人材育成
2021/4/20	中部経済	岐阜大の宇宙産業拠点が本格稼働
2021/4/21	朝日	航空宇宙研究拠点 岐大の構内に開設 ～ 航空宇宙生産技術開発センター ～

国立大学法人東海国立大学機構 (環境報告書2021を発行)

【概要】

2020年度の活動をまとめた環境報告書2021より、東海国立大学機構として環境報告書を令和3年9月22日に発行する運びとなりました。記念すべき第一号である本報告書では、若い世代の意見を反映させるため多数の学生に編集に参加してもらい、研究に関するインタビュー記事も掲載しています。

また、機構長×副機構長、岐阜大生×名古屋大生の対談など、統合したからこそできる新たな試みに多く挑戦し、今までの各大学の報告書をより発展させた新たな1冊となりました。



※ 環境報告書2021は下記のURLよりダウンロードできます。
https://cms.adm.thers.ac.jp/disclosure/upload/20210922_kankyo.pdf

国立大学法人東海国立大学機構 (次期 機構長候補者／大学総括理事候補者)

【概要】

国立大学東海国立大学機構長選考会議は、令和3年9月13日開催の本会議において、全会一致で、現、国立大学法人東海国立大学機構長 松尾 清一 氏を次期機構長候補者として最終選考しました。任期は令和4年月1日～令和10年3月31日です。

松尾 清一次期機構長候補者は、令和3年9月28日開催の国立大学東海国立大学機構機構長選考会議において、大学総括理事として下記の者を任命することについて意見を聴き賛同を得たことから、同人を大学総括理事候補者として文部科学大臣に申し出ることとしました。任期は令和4年月1日～令和10年3月31日です。

現職・氏名 国立大学法人東海国立大学機構副理事
岐阜大学医学部附属病院長 吉田 和弘 氏

現職・氏名 国立大学法人東海国立大学機構理事
岐阜大学副総長 杉山 直 氏

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/9/14	岐阜	松尾東海国立大学機構長を再任 ～ 松尾 清一 機構長 ～
2021/9/14	中日	機構長候補に現職の松尾氏 東海国立大学機構 ～ 松尾 清一 機構長 ～
2021/9/14	朝日	次期機構長に現職の松尾氏 東海国立大学機構 ～ 松尾 清一 機構長 ～
2021/9/14	読売	東海国立大機構長 再任へ ～ 松尾 清一 機構長 ～
2021/9/14	毎日	次期機構長候補 現職再選を決定 東海国立大機構 ～ 松尾 清一 機構長 ～
2021/9/14	日本 経済	機構長に松尾氏続投 東海国立大学機構 ～ 松尾 清一 機構長 ～
2021/9/14	中部 経済	松尾清一氏を機構長に再任 名大と岐阜大の運営法人 ～ 松尾 清一 機構長 ～

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/9/14	日刊工業	東海国立大機構 松尾機構長再任 ～ 松尾 清一 機構長 ～
2021/9/29	岐阜	岐阜大学長に吉田氏 来年4月就任 文科相が任命へ ～ 医学部附属病院 吉田 和弘 病院長 ～
2021/9/29	中日	名大学長 杉山氏 岐阜大は吉田氏 次期候補決定 ～ 医学部附属病院 吉田 和弘 病院長 ～
2021/9/29	朝日	名大の次期総長 杉山氏が候補に 岐阜大学長は吉田氏 ～ 医学部附属病院 吉田 和弘 病院長 ～
2021/9/29	読売	次期名大学長 候補に杉山氏 ～ 医学部附属病院 吉田 和弘 病院長 ～
2021/9/29	毎日	名大学長候補 杉山氏に決定 岐阜大は吉田氏 ～ 医学部附属病院 吉田 和弘 病院長 ～
2021/9/29	日本経済	名大新学長候補に杉山氏 岐阜大は吉田氏 ～ 医学部附属病院 吉田 和弘 病院長 ～
2021/9/29	中部経済	名古屋大学長に杉山氏 候補決定 岐阜大は吉田氏 ～ 医学部附属病院 吉田 和弘 病院長 ～
2021/9/29	日刊工業	岐阜大学長に吉田氏 名大総長には杉山氏 ～ 医学部附属病院 吉田 和弘 病院長 ～

国立大学法人東海国立大学機構 (『東海クライマックスシリーズ』を開催)

【概要】

国立大学法人東海国立大学機構（以下、「東海機構」）航空宇宙生産技術開発センターは、岐阜メモリアルセンター（ふれ愛ドーム）において、岐阜大学/名古屋大学の学生が企画・設計、製作した飛行ロボット（自律滑空機）の中から優秀機を選抜し、東海No.1を決める対抗戦、『東海クライマックスシリーズ』を開催しました。

本センターでは「地方大学・地域産業創生交付金」を活用して、岐阜県や岐阜大学、名古屋大学、地元産業界との産学金官連携により、大学生や就業者を対象とした航空宇宙産業の「生産技術」に関する人材育成と研究開発を実施する「航空宇宙生産技術人材育成・研究開発プロジェクト」を推進しています。

令和2年4月の東海機構設立に伴い、岐阜大学と名古屋大学が連携して、今年の4月から本格実施を開始した、設計技術・生産技術・飛行実証技術を一貫して習得・実体験できる「航空宇宙設計・生産融合人材育成プログラム」の一環として、岐阜大学では工学部所属の4年生、名古屋大学では工学部所属の3年生を対象とした授業の中で、複数の学生でチームを編成し、協力して飛行ロボットの構想・設計、およびその製作を行っています。

この東海クライマックスシリーズは、各大学にて事前に飛行発表会を実施し、その中から選抜された優秀機を一堂に会して、どの機体がどこまでうまく飛行させられるかを競うものとなり、学生が作製した機体の東海No.1を決定するものです。



各大学の飛行ロボット授業で学生が作製した機体の東海No.1決定戦

岐阜大学

東海地区国立2大学
飛行ロボット授業
優秀機選抜対抗戦

東海クライマックスシリーズ

Tokai Climax Series of Students' Handmade Flying Robots

9月29日 2021年 岐阜メモリアルセンター (JR名鉄 岐阜駅から岐阜バスで20分)
(水) 13:30~16:30

航空機械系の大学や大学院進学をお考えの高・大学生、工学教育に興味のある方などなたでも参加できます

←から事前参加予約が必要です(参加無料) 問合せ先: 航空宇宙生産技術開発センター
Email: ipteca@gifu-u.ac.jp Tel: 058-293-3714

東海国立大学機構

MAKE NEW STANDARDS

プログラム (Part 1 競技会は13:30開始です。詳しくは予約ホームページをご覧ください。)

Part 1 飛行ロボット競技会 各大学の飛行性能上位機体が集合! 東海No.1を決定!

Part 2 飛行ロボット大反省会 全機体の全飛行動画を参加者全員で振り返ります。

Part 3 特別講演 「航空機加工技術概要—その歴史と最近のトピックス—」
川崎重工業務 酒井昭仁フェロー

内閣府: 地方大学・地域産業創生交付金 / 日本一! 航空宇宙産業クラスター形成を目指す生産技術の人材育成・研究開発!
岐阜県: 航空宇宙産業学生実践人材育成・研究開発事業 産学連携
主催: 東海国立大学機構 航空宇宙生産技術開発センター / 開催協力: 名古屋大学全学同窓会、川崎重工業務 / 後援: 岐阜県

名古屋大学



東海クライマックスシリーズの様子



集合写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/9/30	岐阜	飛行ロボ, 限界を超える 岐阜大と名大, 性能競う ～ 工学部機械工学科4年 岡崎翔太郎さん ～
2021/9/30	中日	飛べ! オリジナル機体 岐阜大生と名古屋大生 飛距離競う ～ 工学部機械工学科4年 岡崎翔太郎さん ～

放送日等	番組名	内容
2021/10/6	東海テレビ 16:50～19:00 「ニュースOne」	東海クライマックスシリーズの様子の紹介
2021/10/6	ぎふチャン 18:15～ 「ぎふサテ!」	東海クライマックスシリーズの様子の紹介

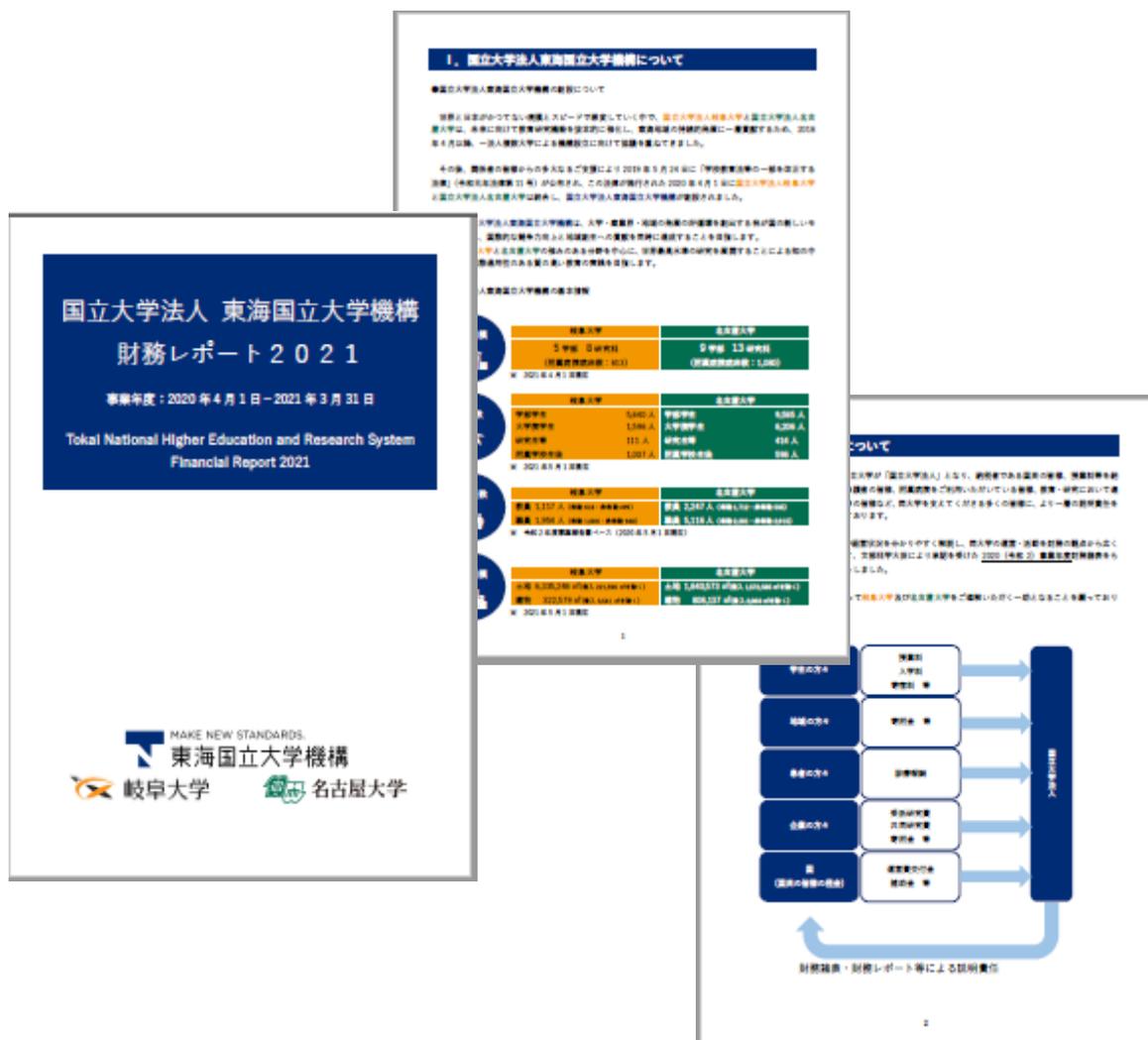
国立大学法人東海国立大学機構

(財務レポート2021を発行)

【概要】

東海国立大学機構では、岐阜大学と名古屋大学の財務状態や経営状況を分かりやすく解説し、両大学の運営・活動を財務の観点から広くご理解いただくことを目的として、「財務レポート」を作成しています。

このたび、文部科学大臣により承認を受けた2020（令和2）事業年度財務諸表をもとに「財務レポート2021」を令和3年10月19日に発行しました。



※ 財務レポート2021は下記のURLよりダウンロードできます。
<https://www.thers.ac.jp/disclosure/finance/index.html>

国立大学法人東海国立大学機構

(統合報告書2021を発行)

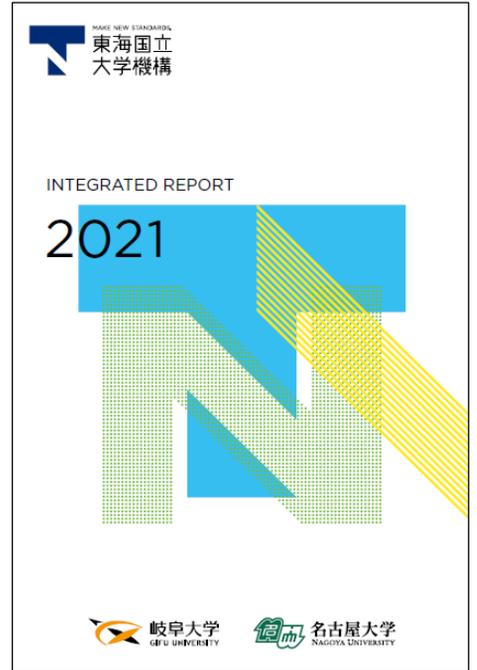
【概要】

このたび、東海国立大学機構は、一法人複数大学を設置する国立大学法人が発行する初めての統合報告書「東海国立大学機構INTEGRATED REPORT2021」を令和3年11月10日に発行致しました。

本報告書では、岐阜大学と名古屋大学が法人統合を行った背景や統合の目的、目指す姿、統合時に掲げたビジョン・戦略について分かりやすく伝えるように意識して作成しています。

また、一般的に公共法人が発行する統合報告書は、企業と比較すると事業の継続性についての記載が少なくなる中、一般の投資家の方にもご理解頂けるように国際統合報告フレームワークで必要とされる8つの内容要素を踏まえ、リスクと機会の分析、外部環境が事業運営に与える影響、事業戦略、アウトプット・アウトカムの一貫性を意識した価値創造ストーリーの構築を目指しました。

今後、大学関係者のみならず、多様なステークホルダーの皆様のご意見を取り入れながら、本機構の価値創造について、多くの方々にご理解を頂けるように内容の充実を図っていきます。



※ 統合報告書は下記のURLよりダウンロードできます。
<https://www.thers.ac.jp/news/2021/11/20211110-tougou.html>

国立大学法人東海国立大学機構 (ヒューマングライコームプロジェクトにおける 連携・協力に関する覚書を締結)

【概要】

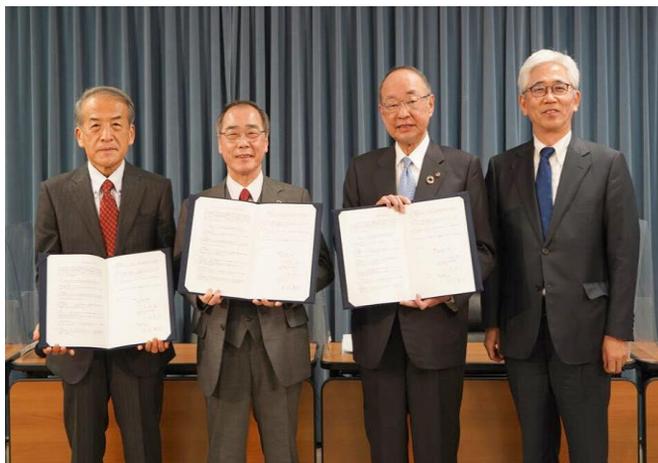
東海国立大学機構は、この度、自然科学研究機構並びに創価大学とともに生命科学研究の重要事業として、ヒューマングライコームプロジェクト（代表者：糖鎖生命コア研究所 所長 門松健治）を開始するため、本プロジェクトの連携・協力に関する覚書を締結しました。

締結に伴い、令和3年11月11日（木）に文部科学省記者会見室において、3機関による記者会見を実施しました。

糖鎖は、細胞表面やタンパク質に結合している糖がつながった構造であり、「ヒューマングライコーム」とは、ヒトの網羅的糖鎖情報を意味します。本プロジェクトは、ヒトの糖鎖情報をデータベース化し、国内外の研究者・研究機関に公開することで、次世代生命科学への飛躍的な発展と、医療・ヘルスケア革新の実現を目指します。

本プロジェクトは、科学技術・学術審議会が2020年9月に公表した「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップの策定 -ロードマップ2020-」に掲載され、東海国立大学機構の名古屋大学及び岐阜大学が共同で設置する糖鎖生命コア研究所、自然科学研究機構生命創成探究センター及び創価大学糖鎖生命システム融合研究所の3つの研究施設が連携し、中核となって推進します。

記者会見では、文部科学省の共同利用・共同研究拠点に認定された、上記3つの研究施設で構成する「糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点」についても説明するとともに、12月6日に実施予定のヒューマングライコームプロジェクト特別シンポジウムの開催についても紹介しました。



集合写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/11/12	中日	糖鎖の全容解明へ連携 東海国立大機構など3者覚書

国立大学法人東海国立大学機構 (信用格付け新規取得)

【概要】

東海国立大学機構では、国際的な競争力向上と地域創生への貢献を両輪とした発展を目指し、経営改革に取り組んでいるところです。経営状況に対する客観的な評価を得ることによりステークホルダーの皆様に対して経営の透明性を高め、多様な資金調達の手段を確保することを目的として、令和3年12月1日（水）に株式会社格付投資情報センター（R&I）及び株式会社日本格付研究所（JCR）による信用格付を新規に取得しました。

【格付機関、格付けの名称及び格付】

格付機関	格付けの名称	格付	方向性
格付投資情報センター（R & I）	発行体格付	AA+	安定的
日本格付研究所（J C R）	発行体格付	AAA	安定的

国立大学法人東海国立大学機構
『生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム』
文部科学省 職業実践力育成プログラムに認定

【概要】

航空宇宙生産技術開発センターにて社会人向け履修証明プログラムとして実施する「生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム」が、令和3年12月21日に文部科学省から職業実践力育成プログラム（BP）（※）として認定されました。

「生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム」は、最先端の機器を利用した実践教育により社会人の生産システムアーキテクトとして企業の若手リーダーや将来の幹部候補生の育成を目指したものであり、座学・討論・実習を通じた総合的・実践的な学びにより第4次産業革命時代のリーダーとしての能力を養うものです。

各科目は、学術研究を専門とした大学教員のみならず、企業経験豊富な大学教員や航空業界・自動車業界等の製造業の技術者が担当し、経営や原価、品質、製造業DXなど最先端の製造業に係る知識・技術を修得できるカリキュラムとなっています。特に、総時間数72.5時間のうち50時間を占める「製造技術特論」では、航空宇宙生産技術開発センター内に設置された電動模型飛行機の自動組立ライン装置を活用した工程管理・工程設計の講義と実習、ロボット操作やPLC（Programmable Logic Controller：プログラマブルロジックコントローラー）のプログラミング実習を行うことで、技術者としての生産システム構築の総合的な実務基礎力を修得することができます。

※ 職業実践力育成プログラム（BP）

大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な実践的かつ専門的な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定するものです。これにより、①社会人の学び直す選択肢の可視化、②大学等におけるプログラムの魅力向上、③企業等の理解増進を図り、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携し、社会人の学び直しを推進するとされています。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/1/28	読売	岐阜大 航空産業貢献へ 航空宇宙生産技術開発センター 教育講座 文科省認定 ～ 航空宇宙生産技術開発センター 小牧博一 センター長 ～

国立大学法人東海国立大学機構

(経済産業省
産学連携推進事業費補助金 (地域の中核大学の産学融合拠点の整備) に採択)

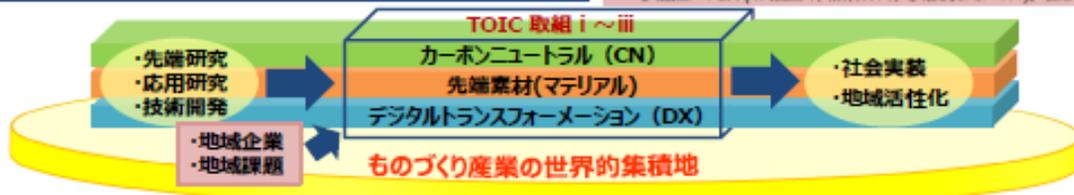
【概要】

東海国立大学機構は、令和4年3月24日に経済産業省の「令和3年度「産学連携推進事業費補助金 (地域の中核大学の産学融合拠点の整備)」」に採択されました。

この事業は、地域の中核大学等が強みや特色を有する研究分野において、企業やベンチャー、自治体等との連携を強化することによって、イノベーション創出や地域経済活性化を促進することを目的としています。また、地域の中核大学等が強みや特色を有する研究分野において、企業と大学等が連携しオープンイノベーションを推進するための産学融合機能を担う「Jイノベ拠点」の「プラットフォーム型」として、①企業との共同実験施設・設備の整備、②インキュベーション施設・設備の整備、③オープンイノベーション推進施設・設備の整備の3タイプの整備を支援するものです。

本事業では、東海国立大学機構のガバナンスのもと、東海地域が世界的競争力を持つ製造産業のコアコンピタンスと未来材料・システム研究所等の研究リソースやコアファシリティーを活かし、先端材料、CN、DXを核とする横断的産学連携プロジェクトに取り組む施設環境を整備し、地域企業・金融機関・アカデミア協同のオープンイノベーションの実践、及びスタートアップの起業環境の整備、地域のステークホルダーとの交流・対流の促進により、人材育成や地域産業の飛躍的・持続的な発展に貢献に資する取組を推進していきます。

事業全体像「地域の産学連携オープンイノベーション拠点」



第72回岐阜新聞大賞

【概要】

学識経験者らによる選考委員会（委員長：森脇学長）で慎重に審査した結果、令和3年度「第72回岐阜新聞大賞」が6氏に贈呈され、学術部門では、本学教授の中澤和馬氏が受賞しました。

贈呈式は令和3年2月5日（土）に岐阜放送テレビスタジオにて行われました。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/2/6	岐阜	6氏の活躍，未来開く 岐阜新聞大賞贈呈式 ～ 専攻委員長 森脇久隆 学長，学術部門 仲澤和馬 教授 ～